

令和4年度一般選抜 正解・解答例等（出題の意図を含む）

【実技型小論文（体育）】

【第1問】設問1

出題意図：

資料の読み取りに基づく論理的思考力・表現力の程度を問う。資料から読み取れる事実について、スポーツに関する時事の知見に基づき、それが生じる原因を論理的に整理して記述する能力を問う。

解答例：

夏季オリンピックのドーピング検査における有所見率は、1990年代にかけて低下傾向となったが、2000年代以降にはドーピング検査数の増加に伴い、有所見率も増加傾向にある。ドーピングとは、禁止されている物質や方法によって意図的に競技能力を高める行為であり、興奮薬や筋肉増強剤などの禁止物質の使用だけでなく、近年は血液ドーピングや遺伝子ドーピングといった巧妙なドーピング行為も報告されている。WADA(世界アンチ・ドーピング機構)や各種スポーツ連盟等により、ドーピング行為への取り締まりやアンチ・ドーピングに関する啓発活動が行われているが、依然としてドーピング違反者はなくなる。選手がドーピングに手を染める背景としては、国際大会で好成績を収めることで多額の賞金・報奨金や名声を得ることができるため意図的に競技能力を高めたり、精神的重圧から逃避するために禁止薬物を使用することが考えられる。